

磨き合う緑陽



令和7年12月8日(月)
各務原市立緑陽中学校
学校便り 号外

◇ 合唱で育んだ力を、日常へつなぐ12月（生徒指導の話）

合唱交流会では、各学級が目標を決め、仲間と支え合いながら練習を重ねてきました。その結果、本番では「楽しかった」「やりきった」という達成感を多くの生徒が感じることができました。歌うことが苦手だった生徒も、練習を通して前向きな気持ちになり、仲間と協力することで成長を実感できたという声もありました。曲決めやパート練習を通じて、互いの思いを確認しながら一つの目標に向かう経験は、学級の絆を深める大切な時間となりました。

この行事は「終わり」ではなく、日常の活動にいかしていくことが重要です。12月は合唱で培った「高め合う力」を次の活動へつなげていきます。具体的には、清掃活動の質を高めること、そして人権週間の取り組みです。清掃では、確認したポイントを意識し、スタンダードを一つずつ増やしていきましょう。また、人権週間では、ひびきあいを大切にしながら、互いを尊重する心をさらに育んでいきます。

合唱交流会で得た「協力」「挑戦」「感謝」の気持ちを、学校生活にしっかりとつなげていきましょう。

曲決めでは、自分が歌いたい曲が選ばれませんでした。でも、クラス全員で選んだからには精一杯歌って、この曲を好きになりたいと思っていました。

私が所属したアルトは難しいパートで、最初はほとんど歌えませんでした。だけど、同じパートの仲間が必死に練習したり、自分の声を頼りにしてくれたりしたので逃げずに頑張ろうと思いました。

当日は、自分の中でベストで歌えました。自分の役割を果たせたと思います。このクラスで、この曲を歌えてよかったです。学級の仲間に感謝です。伝えたいです。



《12月の目標》

★キーワード『質を高める』

★重点「清掃レベルアップ」
「人権習慣の充実」

◎大清掃に向けて、清掃の質的なレベルアップを図る

◎人権の学習を通し、自分の言動を見つめ直す

◎合唱取組で身につけた学級に貢献する姿勢を

日常に生かす



◇ 「ひびきあい週間」スタート！みんなで人権を考える1週間

後期に入り、全校で「人権宣言」を立ててから約1か月が経ちました。最近のアンケートでは、人権を意識した生活がやや弱まっている傾向が見られます。そこで、本校では12月8日（月）から12日（金）までの1週間、「ひびきあい週間」を実施します。

目的は、すべての生徒が安心して自分らしく過ごせる学校づくりを目指し、人権を尊重する意識を高めることです。取組として、自分の人権宣言を再確認し、達成するための行動を考えます。また、朝・帰りの会で班ごとに発表し、付箋に記入して掲示します。最終日には「ひびきあいの日」として、道徳の時間にまとめと振り返りを行います。

この活動を通して、今後も人権意識を高め、みんなが幸せに過ごせる学校を目指していきましょう。

ひびきあい週間・ひびきあいの日

《取組の目的》

・生活を振り返り、自分の心の中にある差別的な言動に気づき、正しい選択をとれるよう見方や考え方を改めることができるようになる。
・よりよい人間関係を構築するために、互いを認め合い、思いやりのある行動ができるようにし、自分のことも仲間のことも大切にしようとする人権意識を高める。

ひびきあい週間

《期間》12月8日（月）～12月12日（金）

《時間》朝の会・帰りの会の班活動計画・振り返り時

《方法》

- ①自分が立てた人権宣言を再度確認する。
- ②この人権宣言を達成すると、どのような良いことがあるか（人権とどのようなかわりがあるのか）を考える。
- ③この人権宣言を達成するためには、具体的にどのような考えを持ち、どのような言動をとる必要があるかを考える。
- ④考えたことを付箋の上半分に記入し、班内で発表する。

～上記を参照して1日過ごす～

- ⑤1日を振り返り、反省を付箋の下半分に記入し、班で発表する。
- ⑥付箋は、学級の壁に集約して貼り、教室内の廊下側（ホワイトボードの位置）に掲示する。

ひびきあいの日

《日にち》12月12日（金）4時間目 道徳

《目的》ひびきあい週間をまとめて、今後につなげているようにする。

《内容》担任の先生による資料道徳

